

第 108 回技術講習会「低周波音の基礎と実習・体験」開催報告

事業部会

第 108 回技術講習会「低周波音の基礎と実習・体験」を、2017 年 12 月 1 日（金）に東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）で開催しました。この講習会は、低周波音に対する正しい理解を深めていただくために必要な知識の習得を目的として、一昨年度から開催しており多くの受講者の皆様から大変ご好評を頂いております。本年度は全国から 37 名の方に参加していただきました。

講義は、「低周波音への取組みについて」（環境省水・大気環境局大気生活環境室：今川雄太氏）、「低周波音の基礎及び測定・評価」（日本大学理工学部：町田信夫氏）、「低周波音の対策事例」（(株)アイ・エヌ・シー・エンジニアリング：宮崎哲也氏）、「地方公共団体の低周波音苦情の実例とその対応」（松戸市：桑原厚氏）の 4 件が行われました。その後、「低周波音発生装置の見学及び低周波音の体験」（東京大学生産技術研究所：坂本慎一氏・李孝珍氏）、「低周波音の測定実習」（(一財)小林理学研究所：落合博明氏）の体験・実習に加え、初めての試みとして「がたつき体験・定在波体験・純音印象評価」（(一財)小林理学研究所：小林知尋氏）を行いました。また最後に個別相談の時間を設け、講義に対する質問や実際の業務に関連する相談を受け、講師及び事業部会員が回答いたしました。

講習会後のアンケートでは、「実験を通して低周波音、その不快感を体感できたのは良かった」「実習・体験の多い講習会でとても理解しやすかった」、「とても丁寧な説明で分かりやすかった」等、今後の業務に役立つとの評価を多く頂きました。

本講習会は、次年度以降も実施する予定ですので、多くの皆様の参加をお願い申し上げます。



講習会の様子

以上